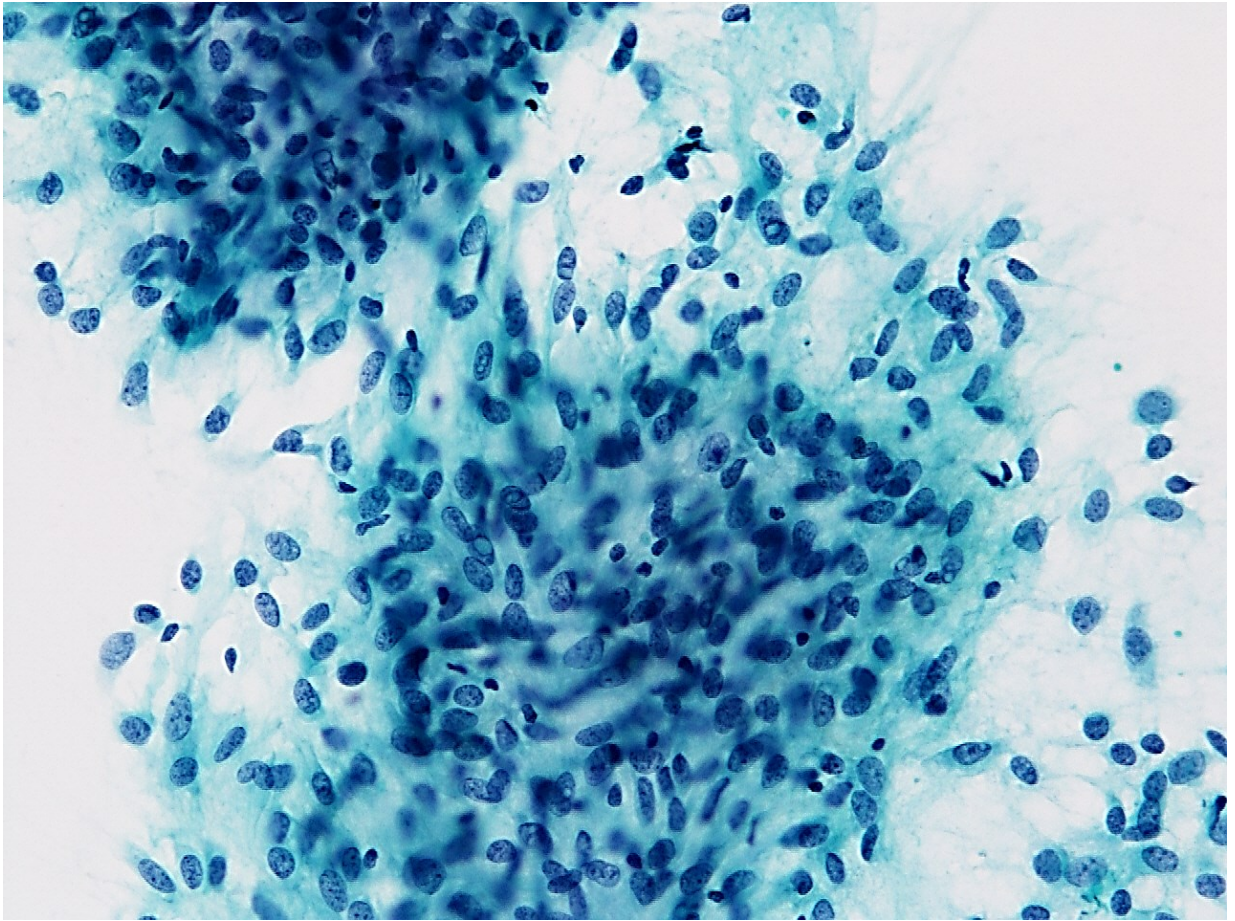


唾液腺症例 (1)



細胞所見：

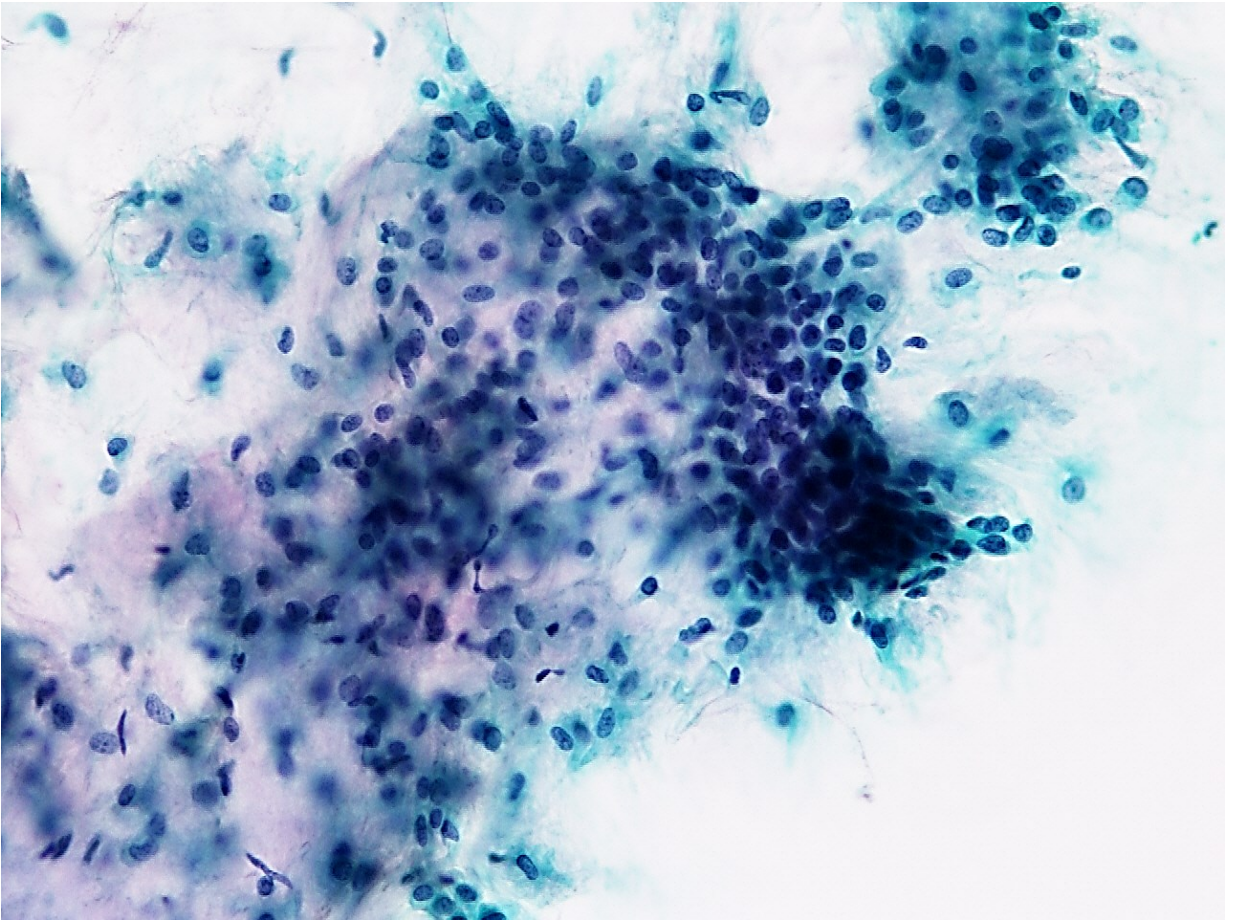
- 種々の形状を示す腫瘍性筋上皮細胞が混在する
- 結合性が弱く、集塊からほつれ様の所見あり
- 紡錘形細胞に核内封入体がみられる
- 細胞質は線維状を示す

細胞診断：多形腺腫を推定

ポイント

紡錘形細胞は代表的な腫瘍性筋上皮細胞の1つであり、多くの多形腺腫症例にみられる細胞である

唾液腺症例 (2)



細胞所見：

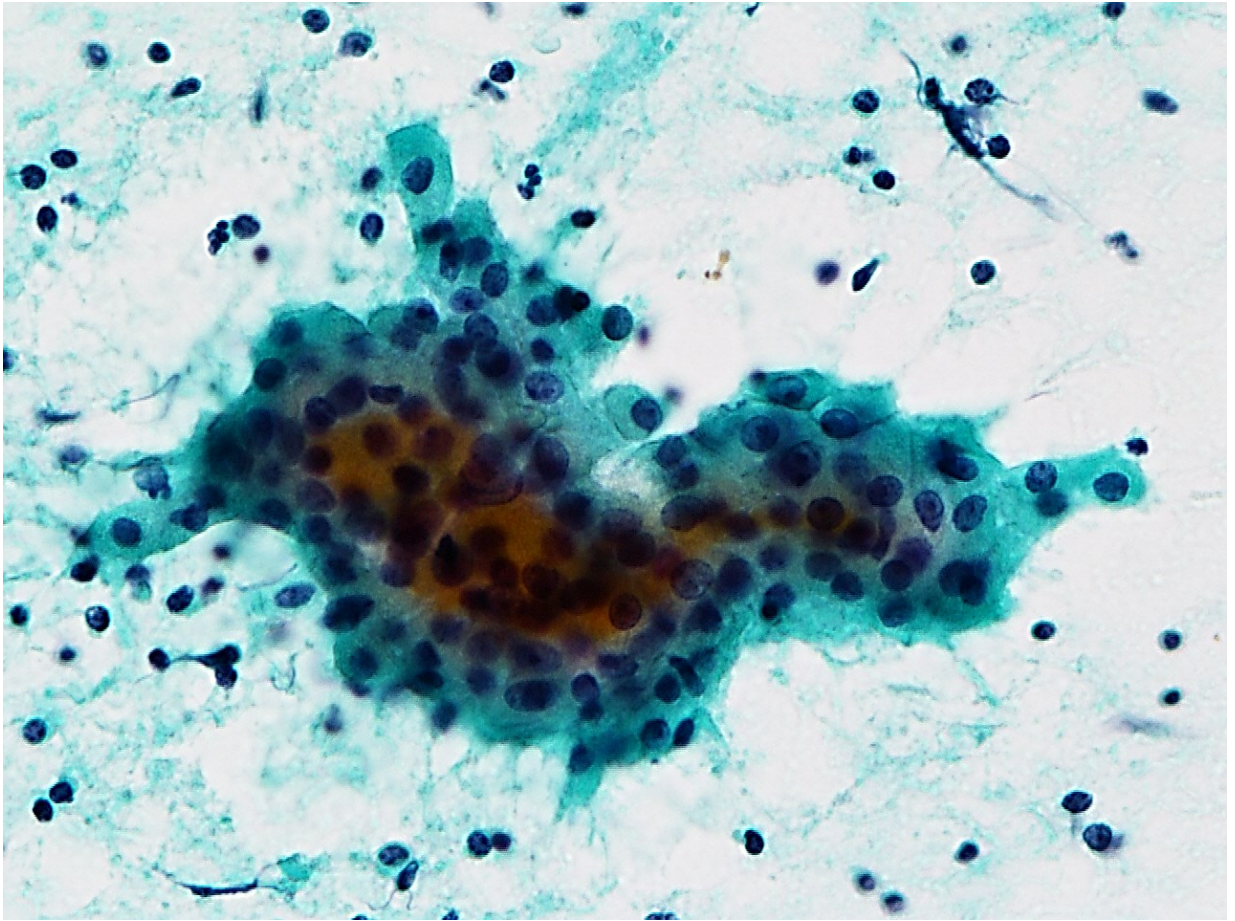
- ・ ピンク色やグリーン色の粘液腫様間質がみられる
- ・ 種々の形状を示す腫瘍性筋上皮細胞が混在する
- ・ 粘液腫様間質は繊維状所見を示す
- ・ 核クロマチンは細顆粒状から濃染性

細胞診断：多形腺腫を推定

ポイント

腫瘍性筋上皮細胞と粘液腫様間質の連続性が特徴

唾液腺症例 (3)



細胞所見：

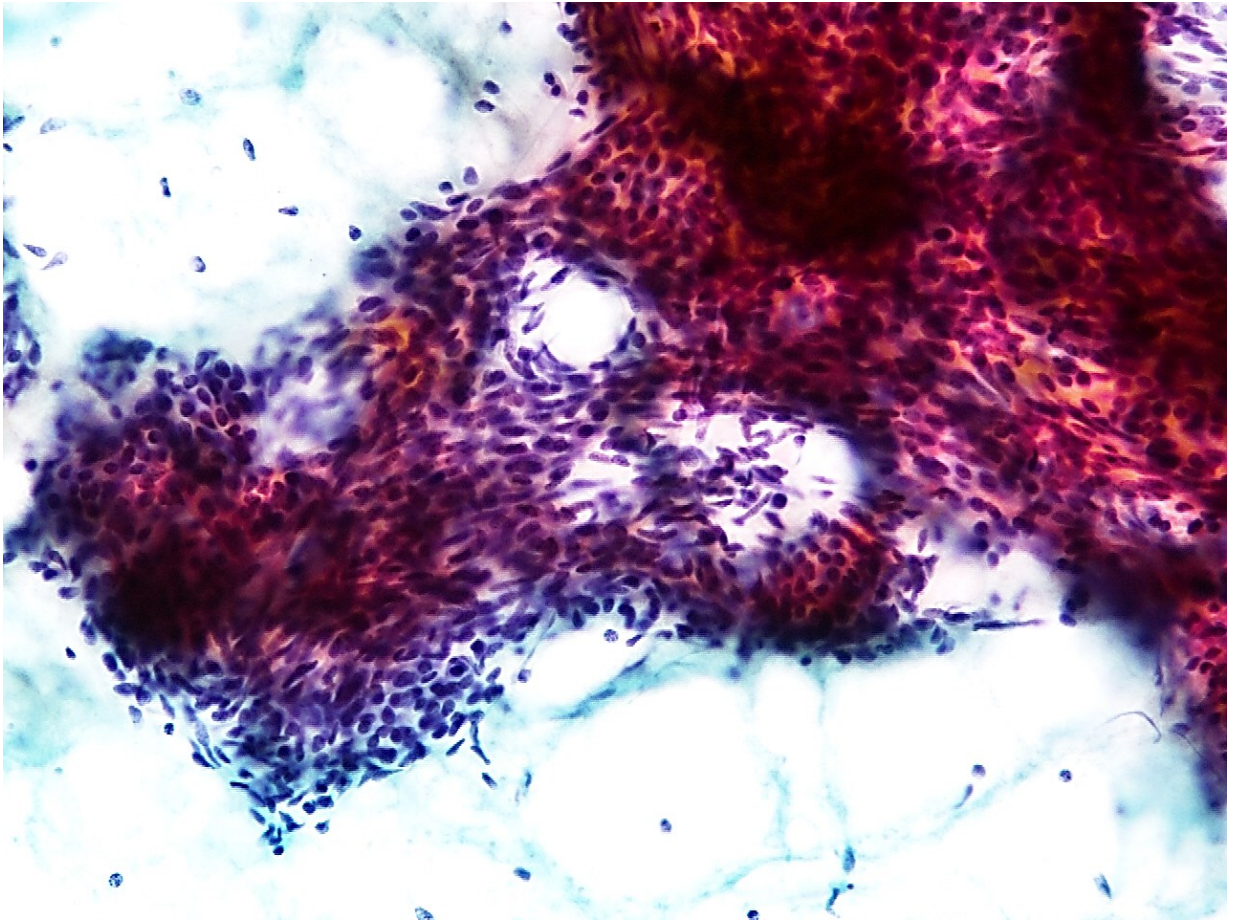
- ・リンパ球背景を示す
- ・結合性の強い好酸性細胞が集塊で見られる
- ・細胞質は顆粒状で好酸性変化を示す
- ・核クロマチンは細顆粒状

細胞診断：ワルチン腫瘍を推定

ポイント

顆粒状細胞質を有する好酸性細胞が特徴であり、好酸性細胞の核は小型均一で異型はみられない

唾液腺症例 (4)



細胞所見：

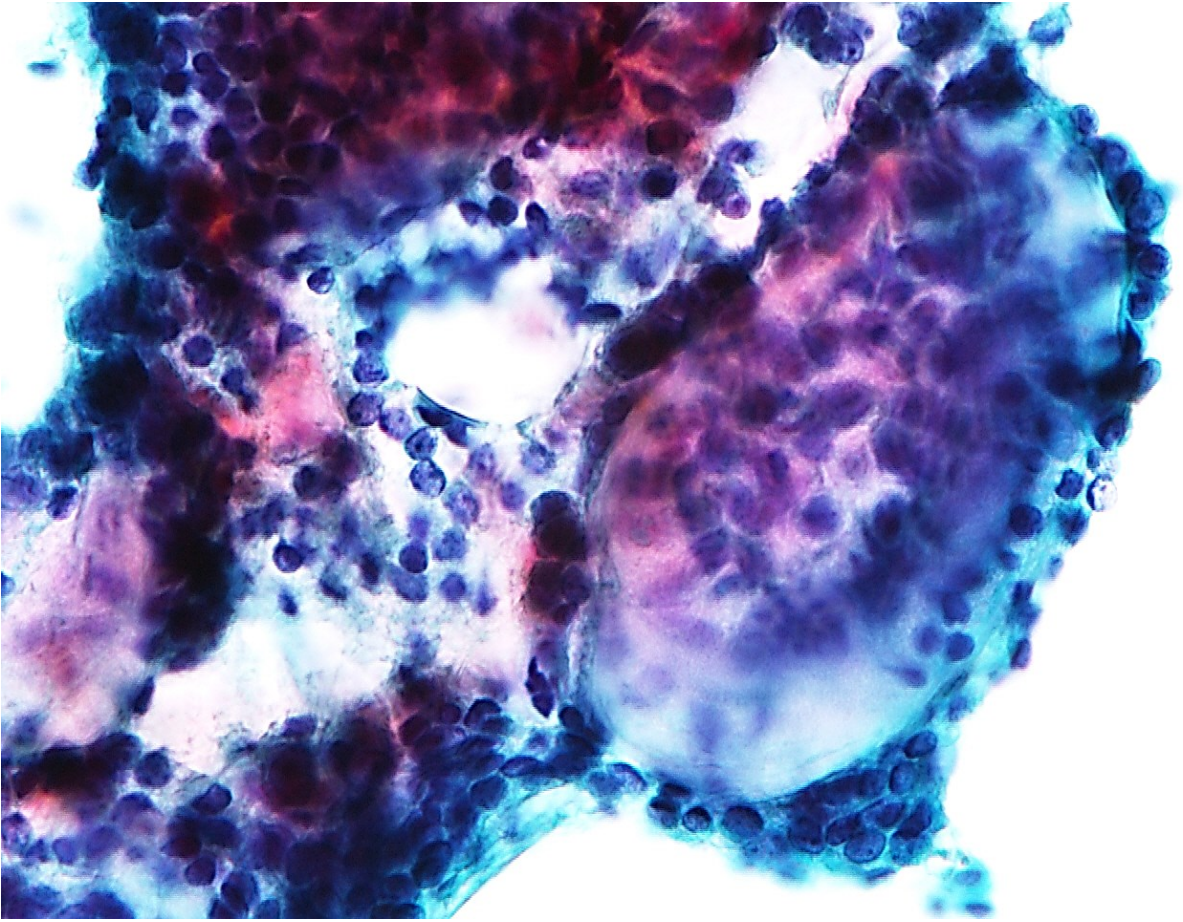
- ・ 結合性の強い、重積性集塊を示す
- ・ 個々の細胞は細胞質に乏しく、基底細胞に類似する
- ・ 核は円形～類円形で、核は濃染傾向である
- ・ 集塊辺縁に基底膜様物質をみることがある

細胞診断：基底細胞腺腫を推定

ポイント

基底細胞に類似した腫瘍細胞が単調な所見で出現する
特に結合性が強いのが特徴である

唾液腺症例 (5)



細胞所見：

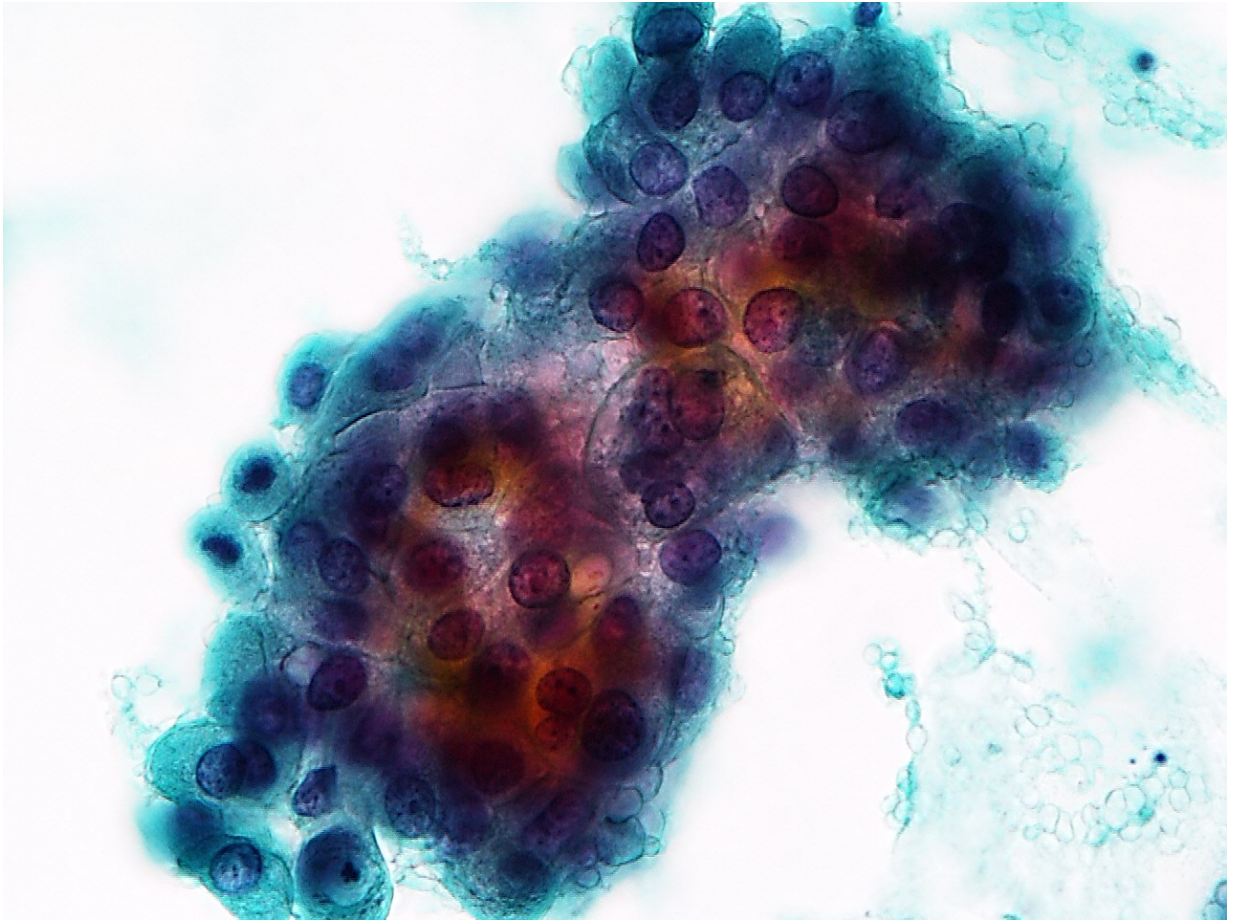
- ・ 異型細胞の N/C比は高く、小型細胞からなる
- ・ 大小の球状硝子体がみられる
- ・ 個々の腫瘍細胞は類円形核で異型に乏しい
- ・ 核クロマチンは細から濃縮状を示す

細胞診断：腺様嚢胞癌を推定

ポイント

大小不同を示す球状硝子体が特徴像である

唾液腺症例 (6)



細胞所見：

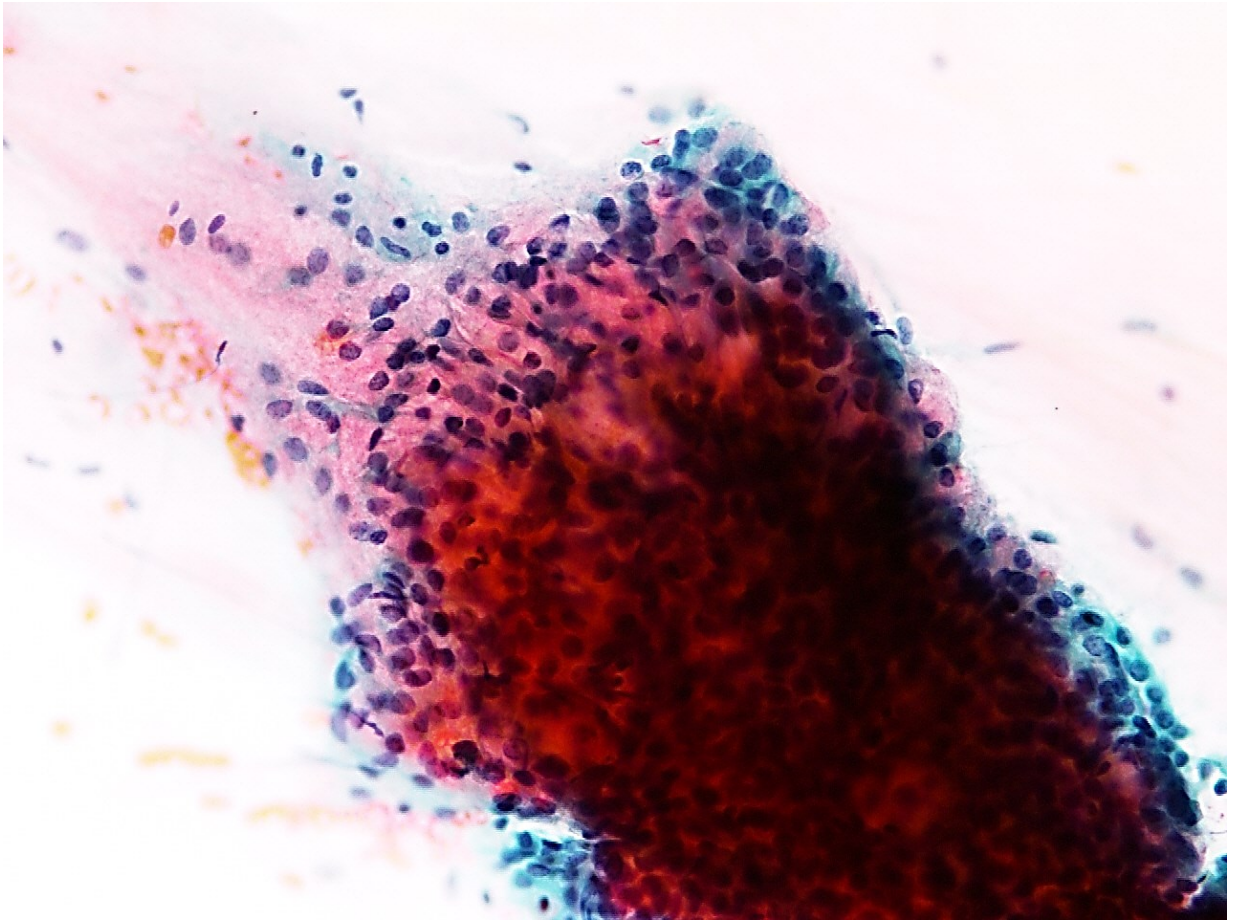
- ・ 異型細胞は大型で異型性を示す
- ・ 細胞質は顆粒状を示し、しばしば粘液空胞を認める
- ・ 核は中心性から偏在性で不整を認める
- ・ 核クロマチンは細から顆粒状を示す

細胞診断：唾液腺導管癌を推定

ポイント

ワルチン腫瘍と比べると大型で異型が強い
乳腺のアポクリン癌に類似所見を示す

唾液腺症例 (7)



細胞所見：

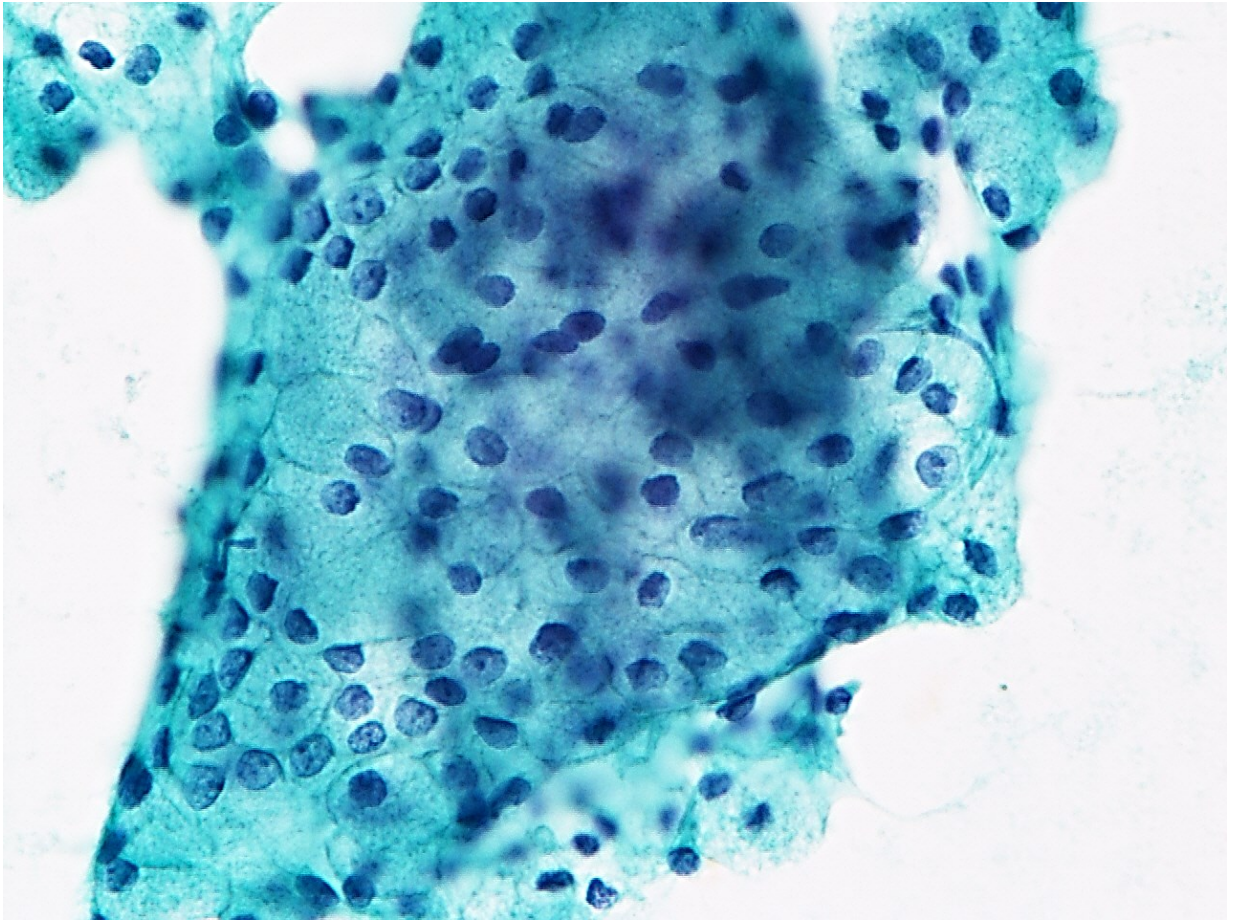
- ・ 上皮性の粘液背景を示し、腫瘍細胞がみられる
- ・ 粘液細胞と中間細胞が主体の細胞像を示す
- ・ 核は小型で異型性に乏しい
- ・ 核クロマチンは細顆粒状で均一である

細胞診断：粘表皮癌を推定

ポイント

低～中等度悪性の粘表皮癌は、粘液背景に粘液細胞と中間細胞が混在して出現する

唾液腺症例 (8)



細胞所見：

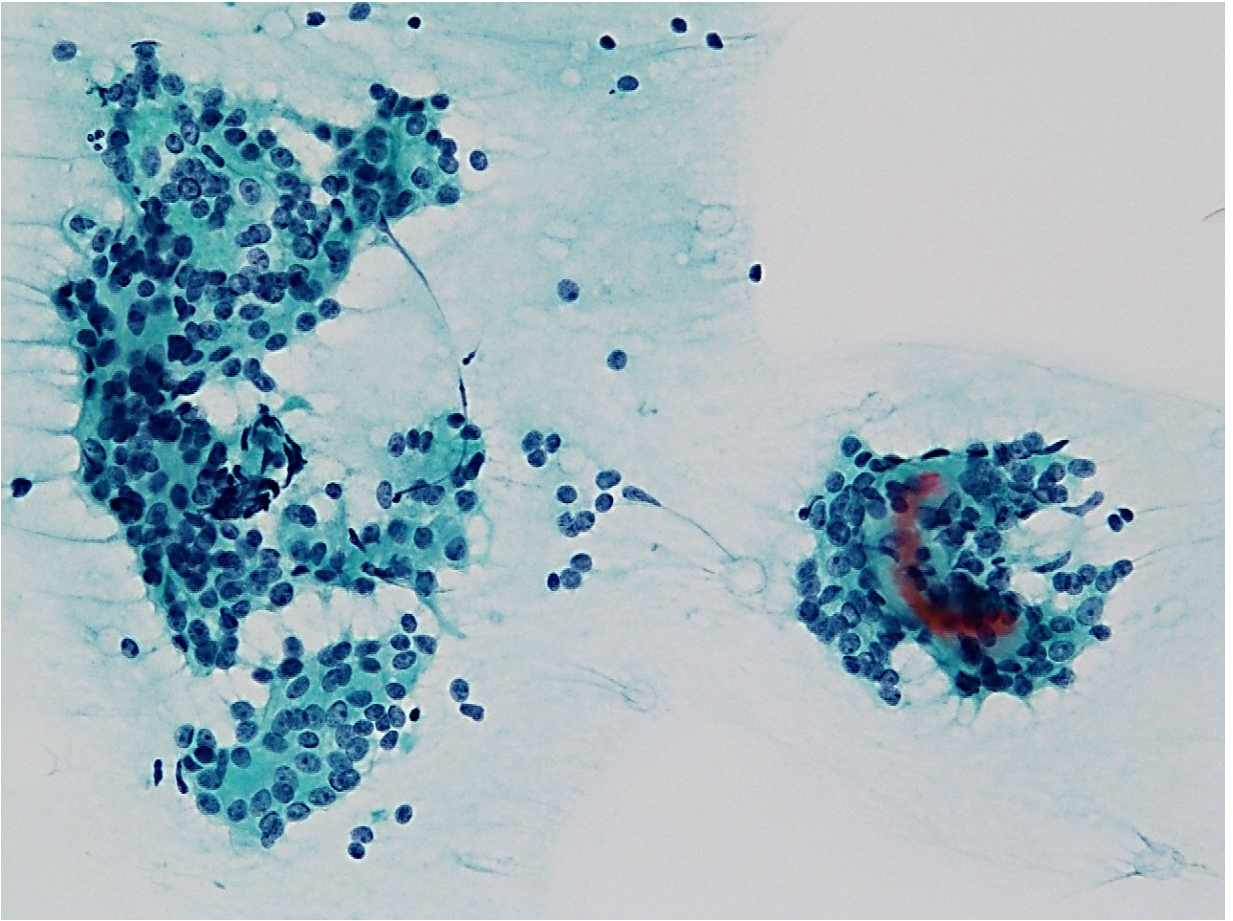
- ・ 異型細胞の N/C比は低く、集合性を示す
- ・ 核は中心性から一部偏在性
- ・ 核は小型類円形を示し、顆粒状細胞質を有する
- ・ 核クロマチンは細顆粒状

細胞診断：腺房細胞癌を推定

ポイント

腺房細胞への分化を読み取ることが重要で、特に豊富な顆粒状細胞質が特徴である

唾液腺症例 (9)



細胞所見：

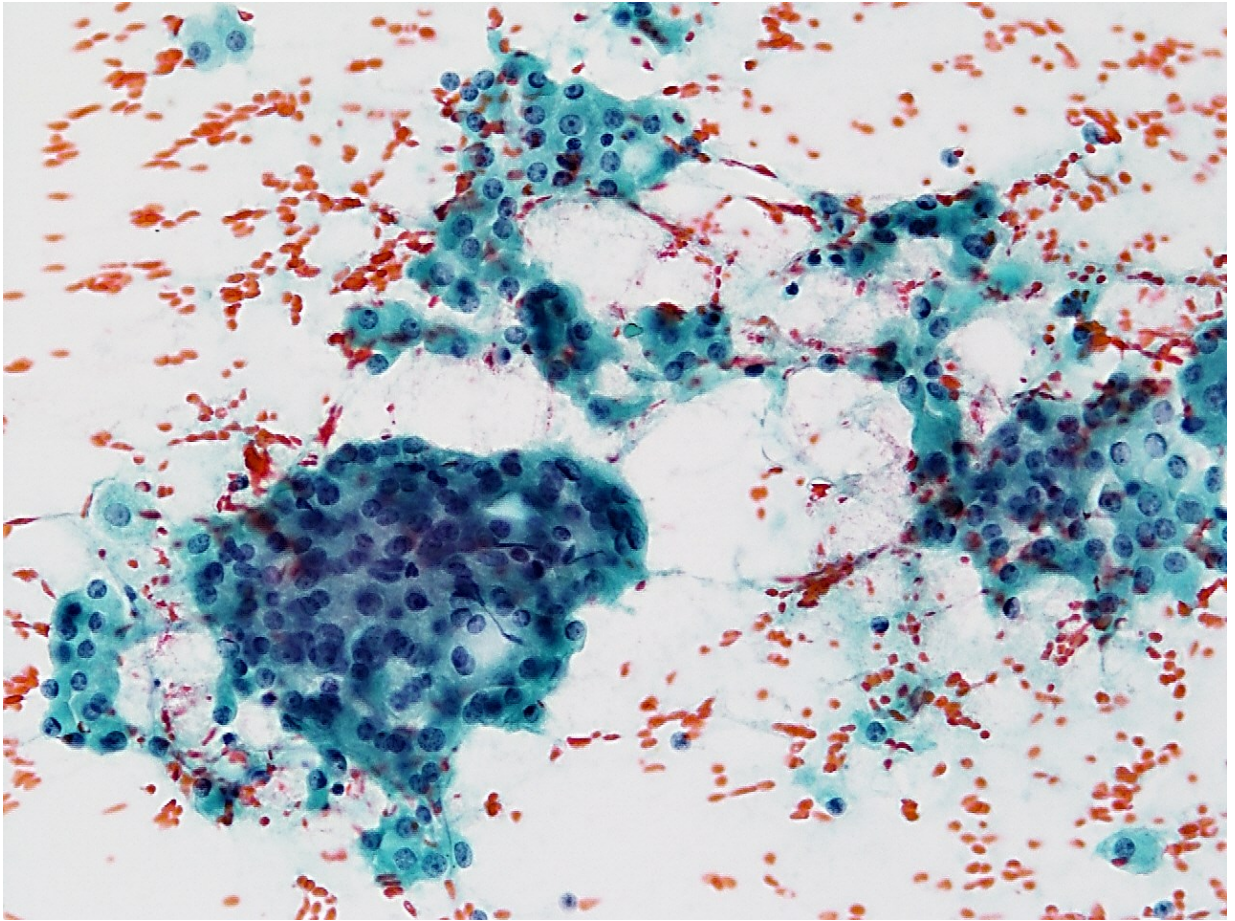
- ・ 異型細胞の N/C比は高く、裸核状細胞もみられる
- ・ 分泌粘液を有する管腔様集塊が混在する
- ・ 淡い細胞質を有する腫瘍細胞が集塊で見られる
- ・ 核クロマチンは細顆粒状を示す

細胞診断：上皮筋上皮癌を推定

ポイント

管腔上皮集塊と淡い細胞質を有する腫瘍細胞が出現し
全体的に多彩性に欠ける細胞像を示す

唾液腺症例 (10)



細胞所見：

- ・ 異型細胞の N/C比は高く、結合性が比較的緩やか
- ・ 核は中心性から一部偏在性
- ・ 細胞質は円形から類円形で明瞭な核小体を有する
- ・ 核クロマチンは細から顆粒状を示す

細胞診断：分泌癌を推定

ポイント

腫瘍細胞の集塊はしばしば微小嚢胞構造類似のフリースペースがみられ、細胞質空胞が特徴的である。